

# 自分の思いや考えを出し、相手の思いや考えに気付いたり 受け入れたりして共に遊ぶ幼児の育成 ～共通する体験や活動を基にした遊びを通して～

特別研修員 幼児教育 久保田あゆみ（幼稚園教諭）

## 〈幼児の実態〉

- ・ 思いを言葉にすることが苦手
- ・ 相手の思いや考えに耳を傾けられない
- ・ 一人で遊ぶことに満足している

## 〈教師の願い〉

- ・ 自分の思いや考えを伝えられるようになってほしい
- ・ 相手の思いや考えに気付いたり受け入れたりしてほしい
- ・ 友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じてほしい

## 〈実践〉 遊園地遊び（5歳児 10月） ～遠足という共通する体験を基にした遊びの設定～

### 手立て1

#### 共通する体験や活動を基にした遊びの場の工夫

- ・ 試行錯誤するための、十分な材料を用意する
- ・ 考えを出してじっくりと遊ぶための時間や場を確保する

### 手立て2

#### 一人一人の思いや考えをつなげる教師の関わり

- ・ 共感的に受け止め、他の幼児に知らせることで認められる場面をつくる
- ・ 友達の思いや考えへの気付きを促す援助を行う

ジェットコースターを作る場面

### 手立て1

- ・ 段ボールやガムテープなどを十分に用意
- ・ テラスや芝生にテントやシートを設置



あの段ボールで作ろうよ

どの段ボールで作ろうかな

### 手立て2

#### 認められる場面をつくる教師の関わり

この椅子C君たちが作ったのよ



C君たちすごい

僕がスタートの合図をするよ

友達と関わる楽しさを感じ、思いを出す姿につながった。

急流滑りを作る場面

### 手立て1

- ・ 給食後も遊びの続きができるように時間を確保

続きどうする？



急流滑り作ろうよ

遊びを発展させて遊ぶ姿が見られた。

### 手立て2

#### 気付きを促す援助

どうしたら良いかみんなに聞いてみようか



タイヤが外れた  
どうしよう

タイヤを外して滑ってみる？

相手の考えを受け入れる姿につながった。

### 成果

- ・ 共通の体験を基に遊び、認められたことから友達と関わる楽しさを感じ、思いを出す姿が見られた。
- ・ 困難を感じた場面では、困ったことを伝え、どうしたら良いか考えたり、相手の考えを受け入れたりしながら解決しようとする姿が見られるようになった。

### 課題

- ・ 幼児が困難を感じている場面で、教師がすぐに声を掛けたり解決策を提案したりするのではなく、声を掛けるタイミングを図り、見極めていくことが課題である。